

MY HOME KOSHI

ほっとライン



特集

「自助」「共助」で命を守る
〜災害に備えて今できること〜



・今月の表紙・

熊本地震からの復興も進み、私たちの住む合志市も平穏な日々が戻りつつあります。しかし、またいつ災害が起きるかはわかりません。穏やかなときだからこそ、災害について学び、今私たちが出来ることは何か一緒に考えてみませんか。（くわしくは2〜4ページ）



やさしくて 穏やかな 福祉社会の創造

2021

09

vol.182

災害発生時に大切なこと・2 共助

永江団地の方から 市民のみなさんへ メッセージ



自治会長
東出 正敏さん

災害は無いに越したことはないが、あるかもしれない。何もないから何もしないのではなく、何もなくても防災訓練など対策をしておくことで、安心して住みよい地域になっていくと思います。



自衛消防団長
岩本 誠治さん

自分たちのところはどんな災害が潜んでいるか、まずは認識する事が大切です。本当に災害が起こった時にどう行動するかを頭に描いておくのと道が開けるとおもいます。



民生委員
池邊 豊美さん

自治会が民生委員と一緒に動いてくださることが重要だと思います。何がいつあるか分からないからこそ、何かあった時にすぐ動ける状態を日頃からイメージしておくことが大事だと思います。

災害発生時、救助や支援がすぐにやってくるとは限りません。多くの災害において、住民同士の支え合い・助け合いが多くの命を守っています。そのためには、日頃からの「顔の見える関係」がとても重要です。

○顔の見える関係を「作る」

→ 日頃からのあいさつだけでもつながりは生まれます

○助け合いの方法を「学ぶ」

→ 防災訓練、自主防災活動に参加しましょう

○助け合う対象を「知る」

→ 近所に高齢の方や障がいをお持ちの方、乳幼児のいる家庭など、配慮が必要な方がいないか気にかけておきましょう

地域の取り組み

永江団地における住民連携

永江団地では熊本地震の教訓を生かし、「犠牲者ゼロ」を目標に掲げ、地域の防災力の向上にむけてこれまで区で実施していた避難訓練の見直しや、自主防災計画を策定されました。さらに、災害が起きて適切な行動がとれるように、自主防災運営要綱、避難所運営(対応)マニュアルも策定しました。マニュアルでは自治会の役割を明確にし、迅速な行動が行えるよう、防災士のアドバイスも取り入れられています。また、要支援者把握の強化として、避難行動要支援者名簿に同意している方を対象に、各町内会長と民生委員と一緒に訪問し、必要な支援や状況を把握する活動を行っています。今後は、要支援者を把握しやすいようマップを製作し、救出・救護活動に生かせるように活動を通して隣近所で見守りあえる関係づくりに役立てていくそうです。

※家族や近所の助け合いを”互助”と表現することもあります。今回は住民同士の支え合い・地域コミュニティの単位で行う助け合いを含めて”共助”と表現しています。

レベル	どう行動する?	どんな情報が?
5	命の危険! 直ちに安全確保 すでに災害が発生・切迫している状況です。 ---〈警戒レベル4までに必ず避難!〉---	緊急安全確保 (気象庁から)
4	危険な場所から 全員避難 すみやかに危険な場所から避難先へ避難しましょう。	緊急指示 (市町村から)
3	危険な場所から 高齢者等は避難 避難に時間がかかる人は危険な場所から避難。	高齢者等避難 (市町村から)
2	避難に備え ハザードマップなどにより、避難行動を確認しましょう。	洪水注意報 大雨注意報 (気象庁から)
1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 (気象庁から)

知っておいて! 新しいガイドライン

「警戒レベル4」で、危険な場所から全員避難!

令和3年5月20日から「避難情報ガイドライン」が改定され、これまでの「避難勧告」が廃止され「避難指示」に一本化されました。警戒レベル5ではすでに災害が発生し、避難が困難になっている可能性があります。**警戒レベル4が出たら、ためらわず安全な場所へ避難しましょう。**また、高齢の方や障がいをお持ちの方など、避難に時間を要する方は警戒レベル3で避難を開始しましょう。警戒レベルは、気象庁のホームページやテレビ・ラジオの情報、防災無線で発信されます。

内閣府
ホームページへ



自助 共助 で命を守る!

～災害に備えて今できること～

熊本県は平成28年の熊本地震、令和2年の県南部を中心に襲った豪雨など、災害に繰り返し襲われています。災害はふたたびいつ・どこで起こるかわかりません。命や暮らしを脅かされる状況になったとき、どのような行動を取ればよいのか。それは日頃から考えておくことが大切です。今月は、災害に備えて今できることと、地域で始まっている取り組みについてご紹介します。



自助

災害発生時に大切なこと・1

社協の取り組み 小学生ワークキャンプ

社会福祉協議会では、日頃から災害についての意識を高めるために、令和2年9月に小学生を対象としたワークキャンプを実施。防災・減災をテーマに、身近なものから防災グッズを作成しました。



ダンボールいす
ペットボトルを入れつぶれないようにしつつ、新聞紙でクッションを確保しています。



掛ふとん
アルミホイルによって保温性、タオルによって触り心地に配慮されています。



ペットボトルライト
明るさが大きくなるようアルミホイルで反射しやすくしています。

小学生のアイデアで完成!

災害発生時にまず大切なことは、自分の命は自分で守ること。命を守るためには、日頃から災害についての知識を学び、発生が予測されるときは素早い行動が取れるように備えておくことが大切です。

○自宅や職場がどのような災害リスクがあるか 「知る」

○避難所の場所、経路を「確認」

→ ハザードマップで確認しておきましょう

合志市ハザードマップ
(合志市役所ホームページへ)



○自宅における防災への「準備」

→ 家具の転倒防止や、食料の備蓄を確認しておきましょう

○情報収集や連絡手段の「確認」

→ 災害時伝言ダイヤルやSNSなど、連絡が取りやすい方法を、家族や親しい人と作っておきましょう



ありがとうございました

次の方々から社会福祉協議会にご寄付いただきました。厚く御礼申し上げます。[6/16~7/15受付分]

- | | | |
|--|---|---|
| <p>寄贈</p> <p>九州納豆組合(株)丸美屋様(納豆)
メデイカルジャパニクス(株)風の森様(介護用品)
原商店様(上白糖)</p> | <p>一般寄付</p> <p>すずかけ台/NPO法人ぽっかぽかすずかけ様
野口和輝様(株式会社JSHコルディアール農園)</p> | <p>香典返し</p> <p>外園/坂本光保様(故母 田鶴子様)
東須屋/中嶋宣就様(故妻 恭子様)
辻久保/安武亮子様(故父 田内誠一様)
鹿水/前田幸助様(故妻 慶子様)
永江団地/高橋富支様(故夫 兼男様)
須屋/松岡啓子様(故母 田尻セイ子様)
泉ヶ丘/高村俊介様(故母 てい子様)
平島/中山くるみ様(故夫 隆行様)
辻/幸恵堅様(故母 久恵様)
黒石/古奥美奈子様(故夫 一意様)
辻久保/光永昌子様(故夫 修様)
須屋/刘群様(故夫 松島廣典様)
上須屋/高宮淳子様(故母 木村悦子様)
若原/添田由美子様(故母 キミ子様)
小合志/清原利様(故夫 泰雄様)
杉並台/神恵子様(故夫 泰秀様)
黒石原/平井巧様(故父 義光様)
黒石団地/石河豊子様(故夫 武夫様)
上須屋/後藤憲志様(故母 テルミ様)</p> |
|--|---|---|

※この他に寄付(一般寄付)1件、寄贈1件ありました

Q なぜ社会福祉協議会が
防災・災害支援に
取り組むの？



A 発災前から復興まで
市民のみなさんのそばで
活動できる団体だからです

社会福祉協議会の役割の一つに災害ボランティアセンターの設置があります。令和2年度7月豪雨でも、被災した市町村にて災害ボランティアセンターが設置されました。

なぜ、行政ではなく、消防や自衛隊でもなく、社会福祉協議会が災害ボランティアセンターを設置するのでしょうか？それは、発災前から市民のみなさんのそばで活動でき、いざというときには人と人をつなぐことができる団体だからです。

社会福祉協議会の理念の一つに「ふだんの暮らしの幸せづくり」があります。私たちは日頃から多くの団体・住民の方と協働し、住民の困り事を把握し、困りごとを解決するために取り組んでいます。また、ボランティアセンターにおいてボランティア



をして欲しい人、ボランティアをしたい人を繋ぐ活動をしています。

これらの活動を通じ、災害が発生しても普段の暮らしの幸せが失われないよう地域社会づくりに取り組むとともに、被害を受けた際に全国の社会福祉協議会・団体・地域住民とのつながりを通して普段の暮らしに戻れるよう活動をおこなうことができるのです。

ご参加ください 社協の災害ボランティア活動

災害ボランティア養成講座



毎年、いつ起こるかわからない災害に備えて、災害に関する専門家や講師を招いて、災害についての知識と技術を学ぶための講座を開いています。令和3年度の災害ボランティア講座は、令和2年度7月豪雨で災害ボランティアセンターを運営していた人吉市社会福祉協議会の職員の方からお話を伺います。

- 日時** 9月24日(金)13:30~15:30(予定)
- 場所** ふれあい館
- 申込み・問合せ** 地域福祉課 ☎242-7007

災害ボランティアセンター設置訓練



合志市総合防災訓練に合わせボランティアセンターの設置訓練を実施します。被災した方とボランティアのみなさんをスムーズにつなぐための訓練を行うとともに、本年度は新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた設置・運営の方法について見直し・検証を行います。

※今年度の実施につきましては、現在未定となっております。実施の場合、ホームページでお知らせいたします。

社協活動レポート

平和交流

毎年夏、デイサービスのご利用者と学童保育を利用している子どもたちで平和交流をおこなっています。戦争を経験した高齢者の皆さんから、子どもだった頃の話や戦争の話を直接子どもたちに伝えていただいています。

ご家庭で戦争の話を聞く機会の少なくなった子どもたちにとっては、今の時代との違いや命の大切さを再確認してもらう機会となっています。

また、語り部をしてくださったご利用者は「子どもたちも戦時中と今の生活の違いについて、興味を持って真剣に聞いてくれた。」と自らの体験を伝えられた充実感を感じていただいています。



戦争中の経験は子どもたちには貴重なもの。質問にも答えていただいています。

(写真は令和元年度の平和交流のものです)



戦争にまつわる話の読み聞かせにも熱心に耳を傾けていました。

※日程等の変更がある場合がありますのでご了承ください。

最新情報は、
社協ホームページで
チェック♪



※対象・定員等条件がある場合があります。くわしくはQRコードからホームページ、またはお電話でご確認ください

ふたごちゃんのつどい にこにこツインズ

双子や多胎児を持つ親と子どもの集いを奇数月に開催しています。仲間と集い、情報交換やおしゃべりをゆっくりと楽しみませんか。

- 🕒 9/13(月) 10:30~12:00
- 👥 双子、多胎児を持つ親と子ども
- 📍 ふれあい館
- 🆓 無料
- ※ 妊娠中の方、保護者のみの参加可
- 📞 こども支援センター ☎242-7008



親子で遊べる おもちゃ図書館

好きなおもちゃで自由に遊んだり、絵本をゆっくり読んだりできる場所です。親子で楽しい時間を過ごしませんか♪

- 🕒 9/27(月) 10:30~12:00
- 👥 就園前の親子
- 📍 南ヶ丘福祉支援センターひかり
- 🆓 無料
- ※ 要申込
- 📞 こども支援センター ☎242-7008



養成講座受講生募集!! 音声訳ボランティア講座

視覚に障がいのある方へ文字を音声にして届けるボランティア。本会ではボランティアのご協力により、広報誌などを音声にして情報提供を行っています。興味がある方、何か始めたい方、参加してみませんか?(全2回)

- 🕒 10/9(土) 13:00~15:00、10/16(土) 13:00~16:00
- 👥 どなたでも
- 📍 ふれあい館
- 🆓 無料
- ※ 要申込
- 📞 地域福祉課 ☎242-7007



9月は「おしゃべりカフェ」♪ ありがとうカフェ

認知症の人とその家族だけではなく、地域の住民、介護や医療の専門職など誰もが参加でき、気軽に交流を深められる居場所づくりを目指しています。つながりを作るきっかけができる場所として、毎月開催しています♪

- 🕒 9/10(金) 14:00~15:30
- 👥 どなたでも
- 📍 ふれあい館
- 🆓 100円(飲み物・菓子代)
- ※ 要申込
- 📞 地域福祉課 ☎242-7007



認知症予防サポーター養成講座 教室運営サポーター募集

介護予防体操や脳トレのノウハウを一緒に学びませんか?11月より開校予定である認知症予防教室の学習・体操のお手伝い、また送迎のお手伝いをしていただける方を募集します。

- 🕒 ①送迎サポーター: 9/28(火)、10/5(火)、12(火)
②学習サポーター: 10/12(火)、19(火)、26(火)
- 👥 20歳以上で全て受講できる方
- 📍 栄市民センター
- ※ 申込締切 ①9/17(金) ②9/30(木)
- 📞 地域福祉課 ☎242-7007



認知症予防しませんか 脳活き生き受講者募集

学習や体操を通して「からだ」と「脳」の健康度アップを目指しませんか?教材を利用して音読や書き写し・計算を行いながら、楽しく認知症予防に取り組む教室です。新たな仲間づくりの機会にぜひご参加ください。

- 🕒 令和3年11/2~令和4年3/1(全14回) 各日10:00~12:00
- 👥 65歳以上で介護保険利用のない方
- 📍 栄市民センター
- 🆓 1回200円
- ※ 定員15名、申込締切10/22(金)
- 📞 地域福祉課 ☎242-7007



困ったときのために 冷蔵庫に貼っておこう!

社協相談カレンダー



※新型コロナウイルス感染症の影響により、開催について変更及び中止する場合がございます。事前にご確認ください。

9月 2021年(令和3年)						
日	月	火	水	木	金	土
29	30	31	1 ふ 行・ぼ/南ヶ丘 ス 弁・民 ふれあい	2	3	4
5	6 育 南ヶ丘	7	8 ふ ぼ 南ヶ丘	9 ス 弁・行相・民 みどり館	10	11
12	13 育 南ヶ丘	14	15 ふ ぼ 南ヶ丘	16 専 社 御代志	17	18
19	20	21	22 ふ ぼ/南ヶ丘 ス 弁・行相・民 御代志	23	24	25
26	27 育 南ヶ丘	28	29	30	3	4

- ス** 法律・行政・心配ごと相談「スカット」
市民のみなさんの悩みや心配ごとに、専門の相談員が対応します。10:00~12:00/13:00~15:00
当日受付(受付時間9:30~11:30/13:00~14:30)
- ふ** ふら〜っとホーム太陽
日常生活のお困りごとに、ぽっかぽかサポーター・行政書士が対応します。10:00~12:00
行政書士相談日のみ予約制 ☎242-7007
- 専** 専門相談事業(9月は年金のこと)
地域の身近な相談窓口として専門相談を開設しています。10:00~12:00(1組30分)
予約制 ☎242-7007
- 育** 健康育児相談
健康や育児に関することに、病児保育室の看護師が対応します。10:00~11:20(1組20分)
予約制 ☎242-7008

凡例 【対応専門家】 弁=弁護士 司=司法書士 社=社会保険労務士 行=行政書士 行相=行政相談委員 民=民生児童委員
ぼ=ぽっかぽかサポーター
【会場】 御代志=御代志市民センター 泉ヶ丘=泉ヶ丘市民センター 南ヶ丘=南ヶ丘福祉センター 輝き館ひかり
栄=栄市民センター みどり館 ふれあい=合志市保健福祉センター ふれあい館

社協の相談窓口 【開設時間】平日8:30~17:30

相談内容	相談拠点	電話番号	所在地
福祉全般・ボランティアのこと	ふれあい館	242-7000	合志市須屋2251-1 「ふれあい館」
高齢者・認知症のこと	合志市地域包括支援センター サブセンターふれあい館		
子ども・子育てのこと	こども支援センター	242-7008	
障がいのこと	障がい者支援センター	242-2271	合志市須屋2540 「れんがの家」
くらしのこと	生活支援相談センター	248-1100	合志市福原2922 「ヴィーブル」

対象

内容

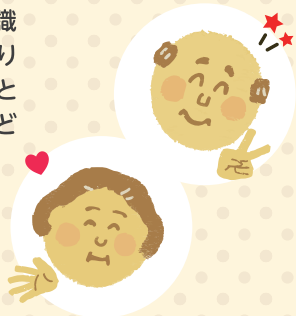
認知症予防啓発講演会

認知症の人のために私たちができること

～家族で、地域で、施設で、穏やかに暮らすために“今”できること～

9月21日は世界アルツハイマーデーです。アルツハイマー病などに関する認識を高め、患者や家族が安心して暮らせる社会を目指して世界的にさまざまな取り組みが実施されています。そこで、世界アルツハイマーデーに合わせ、下記のとおり講演会を開催します。認知症の症状への対応方法や地域での支援方法などお話を聞いてみませんか。

- 日時** 9/17(金) 19:00～20:30
- 場所** ふれあい館
- 定員** 会場受講:20名 リモート受講:100名(先着)
- 特別講師** おがさわら よしゆけ
小笠原 嘉祐氏(社会福祉法人 リデルライトホーム理事長)



講師プロフィール

医師(精神科医)、臨床心理士、日本精神神経学会 精神科専門医指導医、社会福祉法人 リデルライトホーム 理事長、特定医療法人社団ピネル会ピネル記念病院 理事長、特定非営利活動法人 おーさあ 理事長、社会福祉法人わくわく 理事長



問合せ・申込み 地域福祉課 ☎242-7007



毎号、ほっとラインの内容にちなんだクイズを出題いたします。正解の方のうち1名の方に、**図書カード1,000円分**をプレゼントいたします。ぜひ奮ってご参加ください!

今月のクイズ 災害が迫ったとき、命を守る行動を取るための「警戒レベル」。危険な場所から全員避難しなくてはならないのは?

①レベル1 ②レベル4 ③レベル5

【ヒント】:「避難指示」はこのレベルです(2～4ページを読んでみよう!)

8月号のクイズの答えは、
「**③社協会費**」でした!

読者の声 6月号のメッセージ

地元に住んでいながら、地域の文化財マップがあること自体知りませんでした。早速、マップを手に入れ、毎日6000～10000歩目標に、気分だけは水戸黄門の漫遊記であちこち散歩しながら脳活中!

ペンネーム: K/H様

図書カード進呈!

応募方法 住所・氏名・電話番号・年齢・ペンネームをご記入ください。
※頂いたメッセージは「ほっとライン」や社協イベント等でご紹介させていただきます。
※個人情報は厳重に管理し、プレゼント発送のみに使用致します。
※当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

応募先 〒861-1102 熊本県合志市須屋2251-1 合志市社会福祉協議会
「ほっとライン」係 **※9月22日(水) 必着**

メールでも応募できます!



お問合せ 社会福祉法人 合志市社会福祉協議会 ☎242-7000(代)

- ふれあい館 ☎242-7000
- ヴィーブル生活支援相談センター ☎248-1100
- このみ坂保育園 ☎247-6630
- 南ヶ丘福祉支援センター 輝き館ひかり ☎288-2240
- 障がい者支援センター れんがの家 ☎242-2271